

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	企画部都市プロモーション課	■担当係	情報システム係
■評価事業名称	地域情報システム防災ラジオ等整備事業		
■事業開始年度	平成30年度		
■評価事業コード	010300 - 366	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	05 誰もが快適に暮らし続けられるまちづくり	
	■基本施策	03 道路・情報ネットワークの充実	
	■施策	04 情報通信技術の活用	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	防災情報の伝達、行政情報・地域情報の発信を目的として地域情報システム(コミュニティFM)の整備を進めており、災害時の情報伝達手段として防災ラジオ(自動起動ラジオ)を地区交流センター等の災害時の避難所となっている施設、避難行動要支援者及び支援を行う民生委員等に配布するもの。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	地域情報システム防災ラジオ等整備事業	市民	○避難行動要支援者及び地域支援者へのラジオ配布 1,000台 ○屋外拡声器の設置工事	○防災ラジオ購入1,000台 ○区長(125台)、民生委員(201台)、自主防災組織代表(65台)へラジオ配布 ○避難行動要支援者及び地域支援者に配布希望意向調査を実施(対象者401名) ○地区交流センターへ配置(16台) ○緊急情報を伝達する屋外拡声器を展勝地公園第3駐車場に整備

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費				11,644	
人件費				3,766	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト				15,410	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	防災ラジオの配布率				65.31%	実際の配布台数/防災ラジオ貸与(設置)すべき先の総数

事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

防災ラジオを整備し、避難行動要支援者等に配布をした。

問題点・課題等

避難行動要支援者、地域支援者への配布加除業務を今後実施する必要がある。防災の観点でラジオを管理していく必要がある。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

今後の役割分担、業務の進め方について、担当課と協議を行う。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了